

RI 2013~2014 Theme

since 1996.2.14



# 御坊東ロータリークラブ



## Club Weekly Britain

### 四つのテスト(Four way Test)

- (1)真実かどうか (2)みんなに公平か
- (3)好意と友情を深めるか
- (4)みんなのためになるかどうか

例会 水曜日18時30分 御坊御坊商工会館3F  
 事務局 〒644-0002 和歌山県御坊市茜350-28(御坊商工会館3F)  
 連絡先 TEL 0738-23-2334 FAX 0738-22-1234  
 E-Mail gobo-e@gobo-rc.jp

会長 細川幸三  
 副会長 尾崎達  
 幹事 稲垣三哉

## 有田 2000RC 創立 15 周年記念例会

### 御坊東 RC・有田 2000RC 合同例会 於:橋屋



#### 会長告知

会長 細川幸三 君

皆様、今晚は。

本日は有田2000ロータリークラブ15周年記念、誠にありがとうございます。

岩本会長はじめ、会員の皆様には、謹んでお慶び申し上げます。

また先日、実行委員長様の平松様には御坊東クラブにおいて頂き、ご丁寧な記念例会の案内をして頂きありがとうございました。そして、この記念する例会を私共御坊東ロータリークラブとの合同例会とし、一緒にお祝いをさせて頂く事にクラブを代表して厚く御礼と感謝を、申し上げます。

さて、私共御坊東と有田2000RC は大変よく似ております。御坊東は再来年で20周年を迎えますので、クラブの歴史も同じくらい、地域で3番目にできたクラブとしても同じですし、また、会員数も同じくらいだと思います。

そうした事から有田2000RC とは毎年恒例の合同例会を開催させて頂いております。毎年交互にホストを務める事になっていて、本来であれば今年度は私達がホストをしなければなりません、15周年との事で今年は貴クラブに甘えさせて頂きました。今後も20周年、25周年、そして30周年と共にお祝いを出ればこれ以上の事はありません。

沢山の思い出やエピソードがありますが、時間の関係上、私の挨拶はこの辺にさせて頂きたいと思いますが、最後に貴有田2000RC 会員皆様、御家族の方々の今後益々のご発展とご健勝を祈念しまして、私の挨拶と会長の時間とさせて頂いたできます。本日は、誠にありがとうございました。



#### 本日のプログラム

— 記念卓話 —

#### 障がいを持つ人達と「ともに生きる」とは 三ツ村 あけみ 様

三ツ村あけみさんは、自らがたばな支援学校で勤務した14年間の中で、子どもたちと保護者から学び、受け取った思いを伝えさせていただき良い機会となるのではとお話しを頂きました。

又、障がいを持つ人達への理解が深まり、心強い支援の輪が広がれば嬉しく思います。と紹介。一般のイメージはダウン症、脳性まひ、自閉症などの障がい名。最近、パラリンピックでのアスリートたちの活躍やピアニストの辻井伸行さんの演奏など感動を伝えてくれる情報は多々あること。

自身も辻井伸行さんの生の演奏とお母さんの辻井いつ子さんのご講演を聞いたが、改めて人とふれあうことの素晴らしさを感じたと、私達に紹介し、自身も障がいをもつ人たちにはかな

り偏見があり、フィルターを通して見て「障害児」という漢字もあまり気にせず使っていた。障がい児を育ててきたお母さんの講演の中で、「差し障りのある害」と書かれるのには抵抗があると伺い、その後は意識してひらがなで書くようにしていますと紹介した。

たちばな支援学校の開校と同時に地域の小学校から変わり、14年間勤務、校区は広く、印南、清水、下津からスクールバスで通学。

担任した児童の家庭訪問で、お母さんの肩がパンパンになっていると聞き辛かった。また、仕事をしなくても送迎の時間があり条件が満たせずあきらめざるを得ないという声も聞きました。地域の学校で受け入れてもらえたらなあとか、障がい児のお母さんも仕事を社会と繋がっていくことは必要なのと考えさせられた。



高等部2年生は1クラス10名で3人の担任。「多い！」と感じられるかも知れませんが知肢併設の学校でもあり、身体機能や学習面での発達課題が一人ひとり大きく異なるということ。

特別支援学校の教育課程には教科学習以外に「自立活動」や「作業学習」という指導領域があり、農耕、木工、加工、縫飾、窯業などの作業班では、将来の社会適応や就労に向け、働くことの厳しさや楽しさを学んでいる。

実施体験では、開校当初は職場開拓が課題で、受け入れ事業所や企業を探して進路の担当者を中心に足を運んでいました。私も夏休みに実習をさせてもらっている企業を訪問し、くじけてふさぎこんでいる生徒と一緒にお弁当を食べたり、一緒に作業をしたりと必死でフォローした。身体機能や視覚という一目でわかる障がとは違って心の部分は職場の方々理解して頂くのは難しさを感じました。と、語る。

次に、障がいをもつ子どもたちの力を育んでいきたいという職場実習への思いをご紹介します。

◎幼いころから様々な人との心地よい関わりを通して「やればできる」というエネルギーを蓄える。

◎誰かの役に立つ経験や「ありがとう！」と言われる経験をたくさん積み、働くことへの土台を作っていく。

幼い頃「障がい児の引き出しは限られている。発達はない」と言われ、そんなことはない悔しくて涙が止まらなかったというお母さん。小さな一歩ですが、成功体験を積みながら一人ひとりの自信を育んでいきます。健常児なら放っておいても周りを見て出来るようになることがかなりの時間を要します。しかし、どんなに頑張っても獲得できない事もあるので、折れない心を育むことも大切だと思います。

退職後私はしばらく障がい児学童保育の指導員をし、社会福祉法人和歌山県福祉事業団の第三者委員をしている。事業所は由良みのり園、由良あかつき園、生活介護事業所しゅり等々。近鉄百貨店では陶芸品の展示と販売がある。

地域で働いている卒業生をよく見かけるが、社会人として

日々成長していることを実感。

できないことを数えるのではなく、出来ることを伸ばして、一人ひとりがそれぞれの場で自分らしく生き生きと頑張ってもらいたいと願っている。

最後に、卒業後を支えるFくんのお母さんと車いすのMさん本人からのメッセージを紹介した。

「心が折れそうになった一言やまなざし」「勇気をもらい背中を押してくれた一言やまなざし」というテーマです。直接声をかけられなくても、頑張ってるねという温かい気持ちを届けて頂けたら・・・そして障がいをもつ人たちのサポーターが地域にいつそう多くなれば幸いですと、締めくくった。

### 出席報告

出席委員会 雑賀鈴夫 君

会員数	欠席者	出席者	免除会員	出席率
15名	7名	8名	2	53.3%
4月24日 の修正出席率				なし



### 次回例会のご案内

★5/14 例会は

親睦旅行です。

集合 am4:00- 菊池温泉